

# ロボット介護機器開発・導入促進事業

平成28年度予算案額 **20.0億円（25.5億円）**

地・経03

## 事業の内容

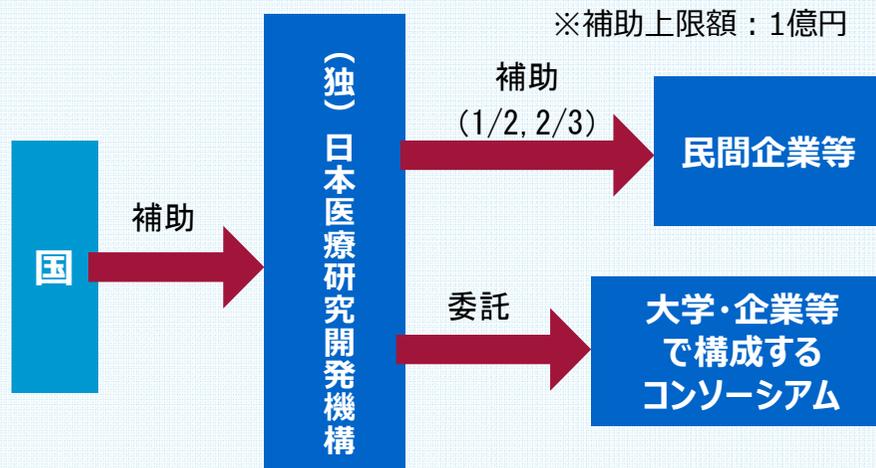
### 事業目的・概要

- 高齢者の自立支援、介護実施者の負担軽減に資するロボット介護機器の開発・導入を促進します。
- 介護現場等のニーズを踏まえ、厚生労働省と連携して策定した「ロボット技術の介護利用における重点分野」のうち、平成28年度は、屋内移動支援及び入浴支援分野のロボット介護機器を開発する企業等に対し補助を行うとともに、介護現場への導入に必要な基準作成等の環境整備を行います。

### 成果目標

- 平成25年度から平成29年度までの5年間の事業であり、平成32年度にロボット介護機器の市場規模を約500億円へ拡大することを目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### I. 重点分野のロボット介護機器の開発補助

ロボット技術の介護利用における重点分野  
(平成24年11月 経産省・厚労省公表、平成26年2月改訂)

移乗介助(装着、非装着)



移動支援(屋外、屋内)



排泄支援



認知症の方の見守り(施設、在宅)



入浴支援



### II. 介護現場への導入に必要な環境整備

安全・性能・倫理の基準を作成し、効果の高いロボット介護機器を評価・選抜し、介護現場での実証試験実施や導入を促進する。

# (参考) これまでの開発事例

26年度開発終了事例 (見守り、屋外移動支援)



2015年7月発売

2015年10月発売  
(既に一部施設で導入済み)



ベッドからの離床を検知・通報するロボット

坂道や不整地を検知し歩行を電動アシストするロボット

27年度開発終了予定事例 (移乗介助)



写真は首相官邸ホームページより

移乗介助における腰の負担を軽減するアシストスーツ



ベッドが分離し車椅子となるロボット